SAVINGDA-plus

クライアント用
取扱説明書

［第２版］

目次

目次 2
お使いになる前に 3
重要なお知らせ（注意事項） 3
登録商標および商標について 3
制限事項 4
お問い合わせ先 4
1．概要（SAVINGDA-plusとは） 5
１－１．節電スケジュール機能 5
１－２．節電量表示機能 6
2．動作環境 7
3．インストール 7
３－１．DAサービスのインストール 7
３－２．SAVINGDA-plusのインストール 10
３－３．アンインストール 13
4．SAVINGDA-plusの操作、設定 14
４－１．節電スケジュール機能 14
４－２．節電量表示機能 16
４－３．節電モード移行機能 18
４－４．その他の機能 18
5．Q & A 20
（付録 1）サーバIPアドレス変更方法 21

お使いになる前に

本取扱説明書は、SAVINGDA-plus クライアントの概要、機能、インストール、操作方法について解説します。

重要なお知らせ（注意事項）

（1） 本ソフトウェアは OS の機能を使用して動作するため、システムが不安定な状態では、機能が正常に動作しない場合があります。
（2） 本ソフトウェアが表示する節電量(電力量)は、平均的な消費電力を基に算出された予測値であり、計測器等を用いて実測した値とは、必ずしも一致するものではありません。節電量を算出する基礎数値を補正することで、実測値に近づけることは可能ですが、あくまでも目安としてお考えください。
（3） Windows XP の場合、管理者権限を持つユーザの環境でのみ動作します。
（4） 本製品は日本国内仕様であり、弊社では海外での保守サービス及び技術サポートはおこなっておりません。
（5） 本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法並びに米国の輸出管理関連法律などの規制をご確認のうえ必要な手続きをお取りください。
（6） 本書の内容は、将来予告なしに変更される場合があります。
（7） 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することを禁止します。

Copyright (C) Hitachi KE Systems, Ltd. 2005-2011 All rights reserved.

登録商標および商標について

☐ Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corp.の登録商標です。
☐ SAVINGDA は株式会社日立ケーイーシステムズの登録商標です。
☐ PC/AT は米国 IBM Corp.の商標です。
☐ Pentium は Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。
☐ その他、各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

制限事項

SAVINGDA-plus をご利用する上での制限事項を記載します。
内容をよくご確認の上ご利用ください。

制限事項	対処
SAVINGDA-plus **のインストール・アンインストールを行う場合、管理者権限が必要となります。**	**管理者権限でログオンしてインストール・アンインストールしてください。**
コントロールパネルの[電源のオプション] - [電源設定]の内容（モニタの電源を切る、ハードディスクの電源を切る、システムスタンバイ、システム休止状態への移行時間）を変更しても、やがて SAVINGDA-plus **でスケジューリングされた値に書き換わります。**	SAVINGDA-plus **のスケジュールで設定可能な電源のプロパティの設定は、電源のプロパティを使用せずに** SAVINGDA-plus **のスケジュール設定から変更するようにしてください。**

お問い合わせ先

株式会社　日立ケーイーシステムズ
ホームページ　http://hke-store.jp/index.html

1．概要（SAVINGDA-plus とは）

地球温暖化が懸念される昨今、消費電力低減による二酸化炭素(温室効果ガス)の排出量削減を図ることは非常に重要な課題であると言えます。パソコンにおいても電力の消費を抑えることで、地球温暖化防止に少しでも貢献すべきではないでしょうか。そのためには、パソコンの消費電力を抑えるためのツールが不可欠となります。

SAVINGDA-plus は、パソコン（OS）が持つ節電機能（節電モード）を効率よく活用して、節電効果を上げるための節電支援ツールです。

さらに、SAVINGDA-plus はスケジュールを行うことにより、消費電力がピークになる期間に CPU パフォーマンスを落とし最大消費電力を抑えることが可能です。

SAVINGDA-plus には、大きく分けて「節電スケジュール機能」と「節電量表示機能」の2つの機能があります。

1－1．節電スケジュール機能

パソコンの運用形態に合わせて節電機能(*1)を積極的に活用するための機能です。

節電機能を設定しても、節電モードに移行するまでの時間が短いと、直ぐに画面が消えてしまい使いづらく、逆に移行時間を長くすると席を外したときに、なかなか節電モードに移行せず、節電効果が上がりません。しかしパソコンの運用形態は、時間によって異なることが多く、時間帯によって節電モード移行時間が切り替われば、使い勝手を犠牲にすることなく節電効果を上げることができます。

SAVINGDA-plus には、このような節電モード移行時間をスケジューリングする機能があります。

使用例： 例えば下記は、午前中(9:00～12:00)は比較的に在席することが多く、昼休み(12:00～13:00)は使用せず、そして午後(13:00～19:00)は会議等で離席することが多い、消費電力のピーク期間は 13:00～15:00、といったような場合の設定例です。

節電機能(*1)	モニタの電源オフ(*2)	ﾊｰﾄﾞﾃﾞｨｽｸ電源オフ(*3)	スタンバイ(*4)	休止状態(*5)	CPU ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ管理(*6)
9:00～12:00	15 分	30 分	1 時間	なし	**制限なし**
12:00～13:00	1 分	なし	なし	1 分	**制限なし**
13:00～15:00	10 分	10 分	1 時間	2 時間	**制限大**
15:00～19:00	10 分	10 分	1 時間	2 時間	**制限なし**

このように、各時間帯によって節電モードの設定をきめ細かく行うことにより、節電機能を効果的に活用できるようになります。この例では昼休み中は休止状態（パソコンの電源を切るため、消費電力は殆ど 0 に近い状態）に入りますので、1日 10 時間(9:00～19:00)のうち、少なくとも昼休み 1 時間(12:00～13:00)の消費電力を削減することができ、使い勝手を犠牲にすることなく**毎日10%の節電が可能**となるわけです。

*1 節電機能： Windowsには、一定時間使用していないと節電モード（モニタの電源オフ、ハードディスクのオフ、スタンバイ、休止状態）に移行する機能があります。例えば、一定時間キーボード入力やマウスが動かされないとパソコンは使われていないと判断されます。この一定時間が過ぎたとき、モニタの電源を切ったりスタンバイ状態にする等の節電モードに移行させて電力を節約させる機能です。

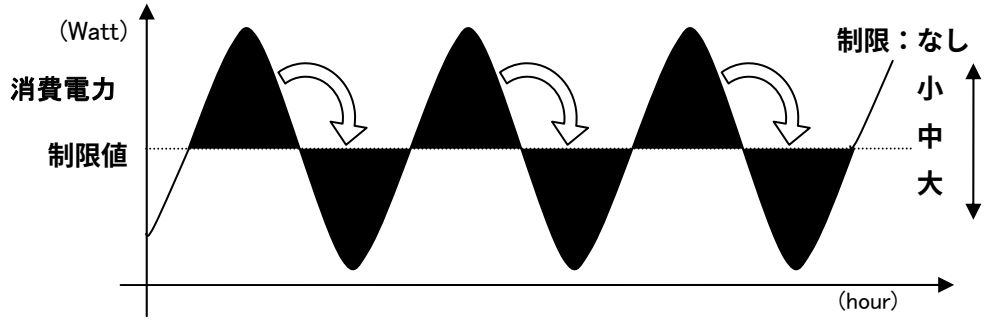
*2 モニタの電源オフ：一定時間キーボードやマウス入力がないと、モニタの電源を切ります。画面は映りませんが、パソコンは動いており、キー入力やマウスで復帰します。

*3 ハードディスクの電源オフ：一定時間ハードディスクへの読み書きがないとハードディスクの電源を切ります。ハードディスクへアクセスしようとすると自動的に復帰します。復帰の際には、モーターが規定回転数に達するまでに数秒かかります。

*4 スタンバイ：一定時間キーボードやマウス入力がなく、アプリケーション等の待ち状態が続くと、パソコン全体が節電状態になります。モニタやハードディスクの電源が切れ、CPUも止まりますが、メモリの内容はそのままの状態となっていますので、スタンバイ復帰後も移行前と同じ状態から作業を続行できます。

*5 休止状態：スタンバイと同様ですが、メモリの内容をハードディスクに保存した後、パソコンの電源が切れます。休止状態から復帰すると、ハードディスクに保存された内容がメモリに復元され、移行前と同じ状態から作業を続行できます。ただしハードディスクの読み書きがあるため、スタンバイよりも移行/復帰に時間がかかります。

***6 CPUパフォーマンス管理：OSの電源管理などを利用してCPUの動作クロックを抑え、最大消費電力を抑えます。制限なし、制限小、中、大の 4 段階から選択できます。CPUパフォーマンス管理は消費電力のピークをシフトして制限値以下に抑える機能です。**



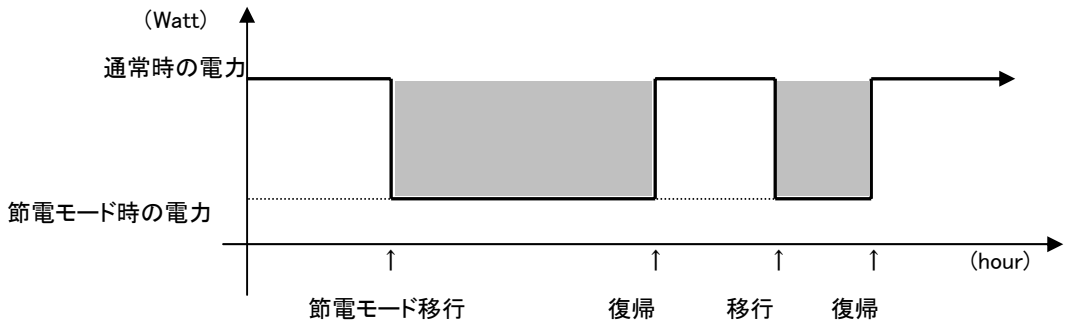
＜CPU パフォーマンス管理の概念図＞

（注意事項）

パソコンの CPU や BIOS(*)が電源管理機能をサポートしている必要があります。サポートの大まかな目安は 2006 年以降のモデルです。サポートされている場合でも、制限小～大の設定で差がない場合があります。
Enhanced Intel SpeedStep(電源管理機能)対応の CPU の場合、BIOS が Enhanced Intel SpeedStep をサポートしており、かつ BIOS での設定が有効になっている必要があります。
動作確認が出来ている CPU は以下の通りです。
Intel Core2 Duo T9600/ T7200/ T5500/ E6420, Intel CoreDuo T2500, Pentium M760/M740
*BIOS（Basic Input/Output System） : パソコン起動時、OS が起動する前に必要な基本処理を行うプログラム。

１－２. 節電量表示機能

節電モードへの移行によって、どれだけの節電効果が得られたかを記録し、積算、表示する機能です。
(注)CPU パフォーマンス管理による節電量は含みません。
節電効果を具体的な数値で確認できるため、節電に対する**意識の高揚**が促進され、節電モードの**積極的な活用**が期待できます。
パソコン使用中、各節電モード（モニタ電源オフ、ハードディスクオフ、スタンバイ、休止状態）を監視し、移行した時刻および復帰した時刻を記録します。そして任意の時点で、それらの累計が、電力と時間の積である電力量=Wh（ワット･アワー）で表示することができ、トータルでどの位の節電効果を得られているのか把握できます。



＜節電モード移行復帰を繰り返した場合の消費電力： 灰色部の面積が節電できた電力量（Wh）＞

例えば、モニタ電源オフ(30W の節電)が毎日 100 分(累計)行われた場合、1ヶ月の合計は、(1ヶ月を 20 日として、30W×100 分×20 日≒)1.0kWh となり、これは**消費電力 1,000W(1kW)の電化製品を1時間使用した場合の電力を節約**したことに相当します。
1kWh の電力を発電するためには、約 555 グラムの二酸化炭素が排出される計算になります。(2006/03/23 に『「地球温暖化対策の推進に関する法律施行令の一部を改正する政令」について（環境省）』で設定された係数、0.555kg-CO2／kWh より)

2. 動作環境

動作対応機種	PC/AT互換機(DOS/V 機) (*)
CPU	Pentium 互換 CPU 133MHz 以上 (*)
メモリ容量	512MB 以上 (*)
ハードディスク空き容量	10MB 以上
オペレーティングシステム(OS)	Windows XP SP3 以降, Windows Vista SP2 以降, Windows 7 (全て日本語版). (注)上記以外のOS(Windows98, Windows NT等)では動作しません。

＊ Windows XP / Windows Vista / Windows 7 が、動作すること。

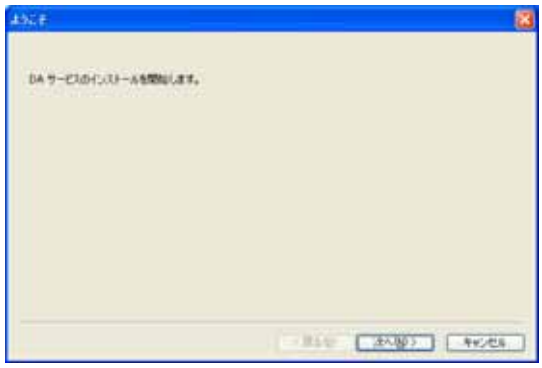
3. インストール

SAVINGDA-plus を使用するため、プログラムをパソコンに組み込みます。
まず DA サービスをインストールし、続いて SAVINGDA-plus をインストールします。

3－1. DA サービスのインストール

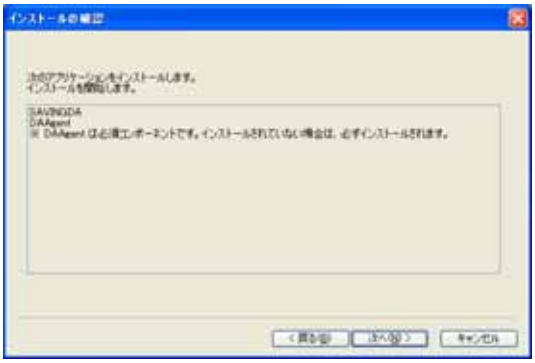
インストールを行う前に、OS が対応 OS であることを確認してください。
また古いバージョンがインストールされている場合、先にアンインストールを行ってください。

1. クライアント PC で、インストール CD の“Client”フォルダにある“DASetup.exe”を実行してください。
2. DA サービスのインストールとなります。次の画面が表示されたら、「次へ」を押してください。



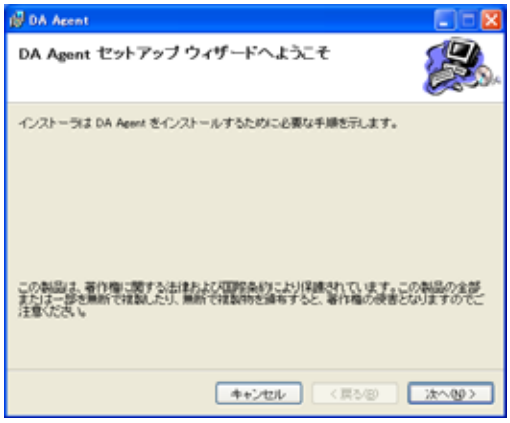
＜インストーラ起動時画面＞

3. インストールの確認画面となります。確認したら、「次へ」を押してください。



＜インストール項目確認画面＞

4. インストールの開始画面となります。準備が出来たら、「次へ」を押してください。

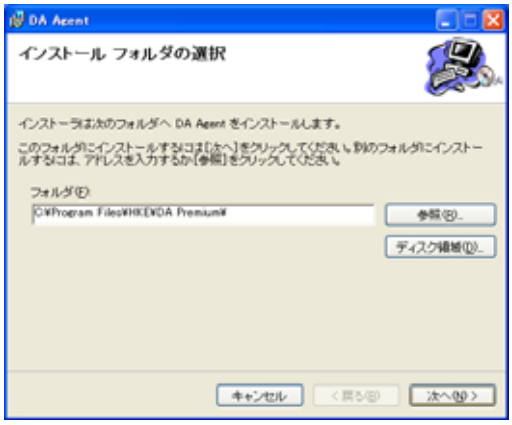


＜インストール開始画面＞

5. ネットワークに用いるポート番号を登録する画面が表示されます。
   特に不都合が無い限りポートは初期設定のままで、サーバIPアドレスを入力して「次へ」を押してください。（サーバ IP アドレスを後から変更したい場合は、付録 1 サーバの IP アドレス変更方法を参照してください。）
   他のアプリケーションで使用している場合は、別のポート番号を登録してください。

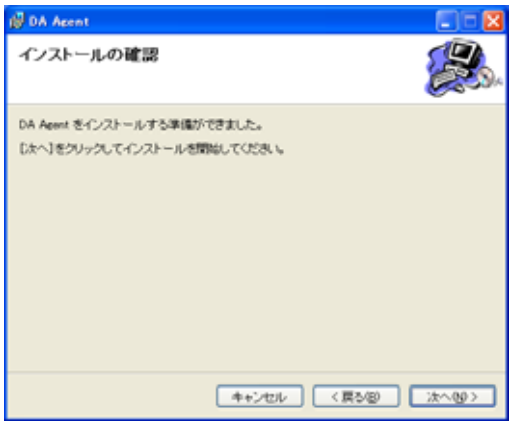
＜初期設定画面＞

6. インストール先のフォルダを設定する画面が表示されます。
   インストール先のフォルダを変更したい場合は、パスを指定してください。設定が完了したら「次へ」を押してください。



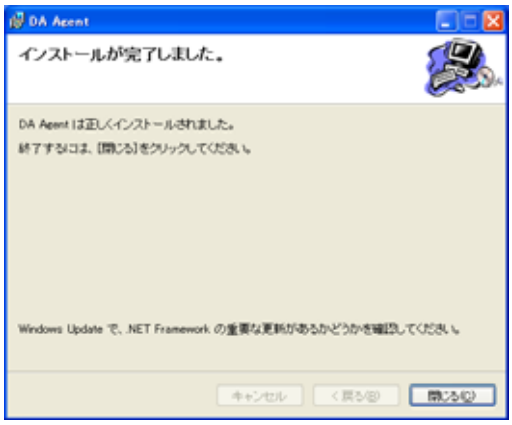
＜インストール フォルダ選択画面＞

7. 下記のインストールの確認を示す画面が表示されますので、「次へ」を押してください。



＜インストールの確認画面＞

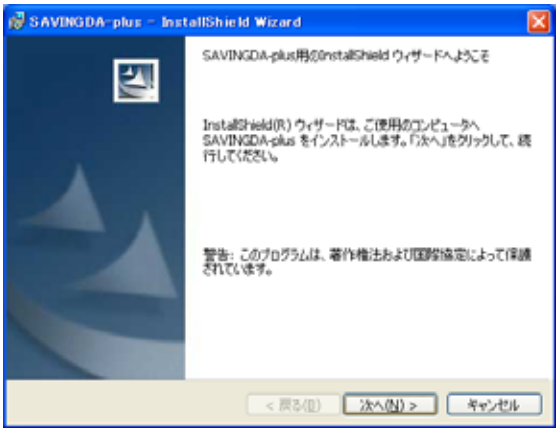
8. インストールが完了すると、下記の画面が表示されますので「閉じる」を押してください。



＜インストール完了画面＞

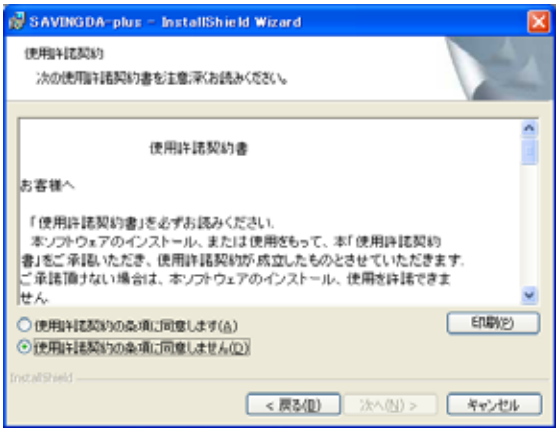
3－2. SAVINGDA-plus のインストール

1. 引き続いて、SAVINGDA-plus のインストールが開始されます。セットアップの準備を行います。
2. 準備が完了すると、プログラム導入前に際しての説明が表示されます。内容を確認後、[次へ]をクリックします。



＜インストール開始画面＞

3. 使用許諾契約書が表示されますので、内容を確認後、[使用許諾契約の条項に同意します]を選択した状態で[次へ]をクリックします。



＜使用許諾契約書画面＞

4. ユーザ情報入力画面が表示されます。そのまま[次へ]をクリックします。

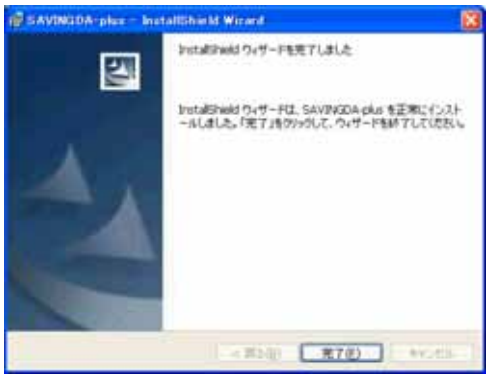
5. インストール先の選択画面が表示されます。ここに表示されたフォルダへインストールする場合は、そのまま[次へ]をクリックします。インストール先を変更する場合は、[変更]をクリックしてインストール先フォルダを変更してから、[次へ]をクリックします。

＜インストール先選択画面＞

6. 以下の画面が表示されます。[インストール]をクリックします。

＜インストール内容確認画面＞

7. ファイルのコピーが行われ、以下の画面が表示されます。[完了]をクリックします。



＜インストール完了画面＞

8. セットアップが完了すると、タスクトレイ(画面右下)に緑色のアイコンが表示され、節電が監視されます。
　　＊SAVINGDA-plus をインストールしただけでは、節電スケジュールが登録されません。４－１ 節電スケジュール機能によりスケジュール設定を行ってください。

＜SAVINGDA-plus アイコン＞

SAVINGDA-plus は Windows のスタートアップに登録され、パソコンを起動すると自動的に SAVINGDA-plus も起動されるようになります。

３－３. アンインストール

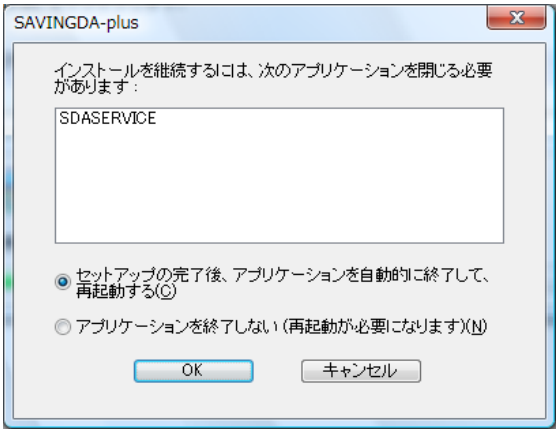
SAVINGDA-plus のアンインストールを行う場合は、事前にタスクトレイ（画面右下）にある緑色の「SDA」アイコンを右クリックし、メニューから「終了」を選択してから、下記を実行してください。

Windows XP の場合

1. 「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」（「プログラムの追加と削除」）をクリックします。
2. 「プログラムの変更と削除」の「現在インストールされているプログラム」の一覧から「SAVINGDA-plus」を選択して「削除」ボタンをクリックします。
3. Install Shield ウィザードの指示に従い、アンインストールします。
4. SAVINGDA-plus のアンインストールが終了したら、「プログラムの変更と削除」の「現在インストールされているプログラム」の一覧から「DA Agent」を選択して「削除」ボタンをクリックします。
5. Install Shield ウィザードの指示に従い、アンインストールします。
6. 完了したら OS を再起動してください。

Windows Vista/7 の場合

1. 「コントロールパネル」の「プログラムのアンインストール」をクリックします。
2. 「プログラムのアンインストールまたは変更」の一覧から「SAVINGDA-plus」を選択して「アンインストール」をクリックします。
3. 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら、「続行」をクリックします。
4. Install Shield ウィザードの指示に従い、アンインストールします。
5. 途中で以下のようなメッセージが表示されたら、タスクトレイに SAVINGDA-plus のアイコンが表示されていないことを確認し、「OK」ボタンを押してください。



＜アンインストール時の確認画面＞

6. SAVINGDA-plus のアンインストールが終了したら、「プログラムのアンインストールまたは変更」の一覧から「DA Agent」を選択して「アンインストール」ボタンをクリックします。
7. 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら、「続行」をクリックします。
8. Install Shield ウィザードの指示に従い、アンインストールします。
9. 完了したら OS を再起動してください。

＊SAVINGDA-plus の設定値や節電情報ログはアンインストールを行っても消去しません。再インストールしたときにこれらのデータを引き継いで動作します。

4. SAVINGDA-plus の操作、設定

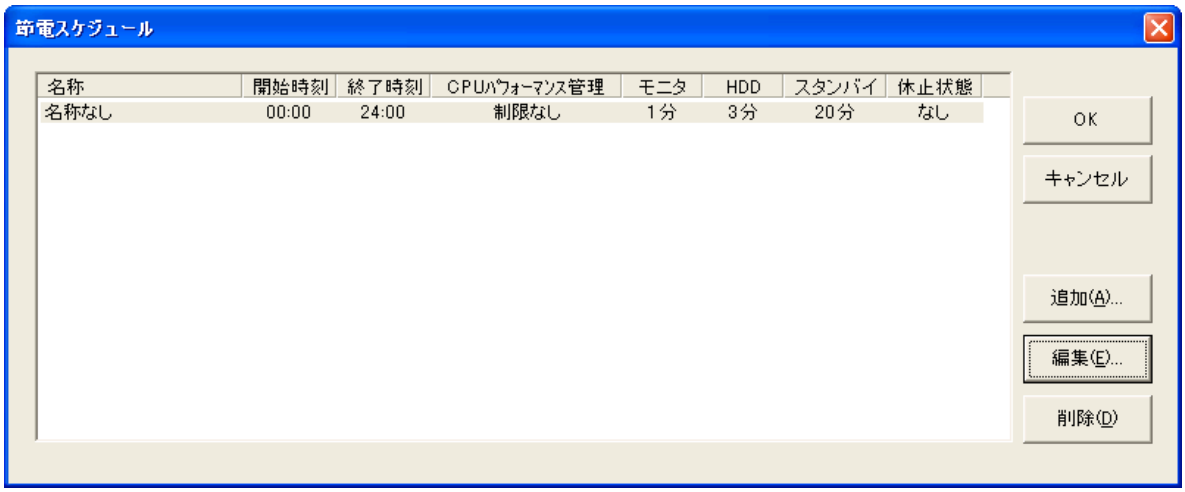
SAVINGDA-plus は、「節電スケジュール機能」「節電量表示機能」「節電モード移行機能」の 3 つの機能を持っています。これらの機能は、SAVINGDA-plus のメニューの中から項目を選択して実行します。
Windows の画面右下(タスクトレイ)にある緑色の「SDA」アイコンが表示されますので、これを右クリックすると、SAVINGDA-plus のメニューが表示されます。

＜アイコンメニューの機能＞

4－1. 節電スケジュール機能

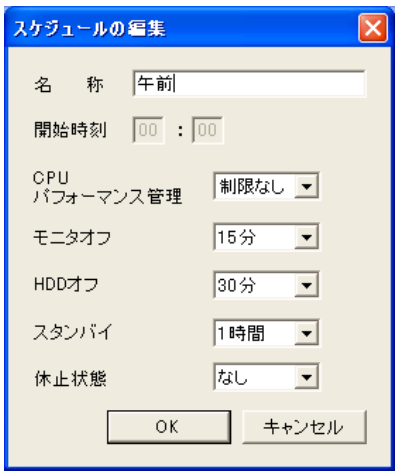
パソコンの運用形態に合わせて Windows の各節電機能(**1－1. 節電スケジュール機能**参照)を、指定された時刻になると切り替えを行う機能です。例えば、午前中は比較的に在席することが多く、昼休み(12:00～13:00)は殆ど使用せず、そして午後は会議等で離席することが多い、といったような場合には、以下のように設定します。

1. まず、SAVINGDA-plus のメニューから「節電スケジュール」を選択します。



＜節電スケジュール画面＞

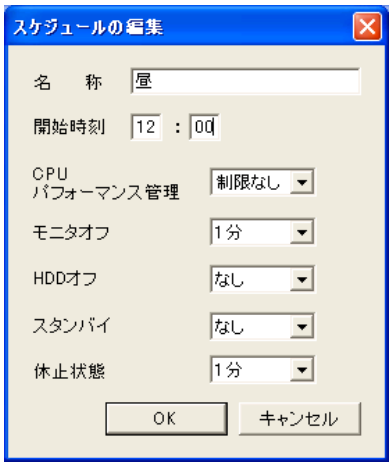
2. スケジュールリスト内にある"名称なし"の項目をダブルクリックします。スケジュール編集画面が表示されたら、「名称」を入力（例えば"午前"）、「モニタオフ」を"15 分"、「HDD オフ」を"30 分"、「スタンバイ」を"1 時間"、「休止状態」を"なし"に選択します。入力が完了したら[OK]ボタンを押します。



＜スケジュール編集画面＞

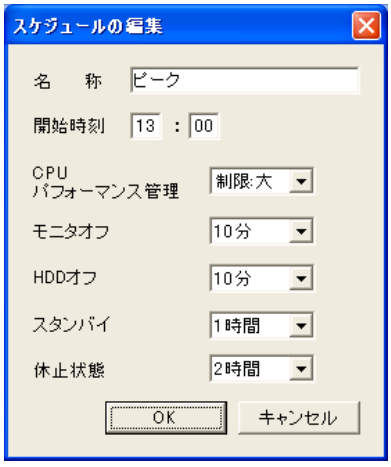
補足：Windows XP の場合、[コントロールパネル] – [電源オプション] – [休止状態]タブの、「休止状態を有効にする」がチェックされていないと、休止状態の時間は選択できません。

3. 次に昼休みのスケジュールを設定します。[追加(A)]ボタンを押して、「開始時刻」に"12:00"を入力し、「モニタオフ」を"1 分"、「HDD オフ」、「スタンバイ」をそれぞれ"なし"に、「休止状態」を"1 分"に選択します。この設定は、次のスケジュールの「開始時刻」まで有効となります。入力が完了したら[OK]ボタンを押します。



＜スケジュール編集画面＞

4. 消費電力ピーク時のスケジュールを設定します。[追加(A)]ボタンを押して、「開始時刻」に"13:00"を入力し、「CPU パフォーマンス管理」を"制限大"、「モニタオフ」「HDD オフ」を"10 分"、「スタンバイ」を"1 時間"に、「休止状態」を"2 時間"に設定します。入力が完了したら[OK]ボタンを押します。



＜スケジュール編集画面＞

5. もう一度[追加(A)]ボタンを押して同様に午後のスケジュールを設定します。

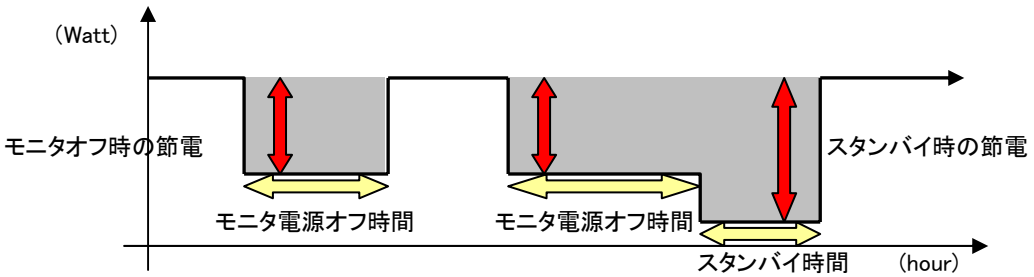
＜節電スケジュール画面＞

6. スケジュールリストが表示されたら、設定内容を確認します。もし訂正したい場合は、項目をダブルクリックするか、項目を選択して[編集(E)]ボタンを押して変更してください。また、削除したい項目があった場合は、項目を選択して[削除(D)]ボタンを押してください。設定内容に間違いがなければ、[OK]ボタンを押すとスケジュールが開始されます。

上記で設定したスケジュールおよび設定内容は一つの例ですので、実際の運用形態に合わせて、スケジュールの追加・編集・削除を行ってご使用ください。

4－2. 節電量表示機能

パソコンの節電量（期間内に節電できた電力量=kWh)を確認したい場合に本機能を使用します。
(注)CPU パフォーマンス管理による節電量は含みません。
SAVINGDA-plus は、パソコンが節電モード（モニタ電源オフ、ハードディスクオフ、スタンバイ、休止状態）に移行および復帰した時刻を記録しており、それら節電モードによって、どれだけ節電量が得られたかが画面に表示（またはテキストファイルに出力）されます。



＜節電量の集計(例)：灰色部の面積が節電による効果（Wh）を表す＞

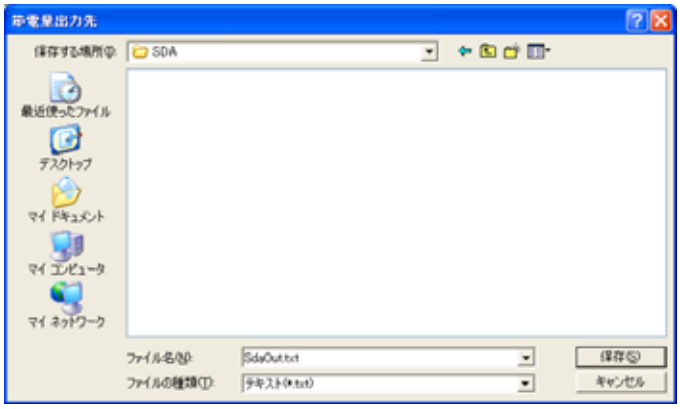
（1）画面表示

SAVINGDA-plus メニューから「節電量」-「画面表示」を選択すると、節電量の集計結果が表示されます。表示される内容は、節電量を集計した「期間」（yyyy/mm/dd～yyyy/mm/dd）、その期間内に節電できた**「節電量累計」（kWh）**、そして1日単位での節電量(Wh)が「内訳」に表示されます（効果が 0Wh だった日は表示されません）。確認したら[了解]ボタンを押してください。

＜節電量表示画面＞

（2）ファイル出力

SAVINGDA-plus メニューから「節電量」-「ファイル出力」を選択すると、ファイルの出力先およびファイル名（デフォルトは「SdaOut.txt」）を指定する画面が表示されます。入力するとそのファイルが作成されて開かれます。



＜節電量出力ファイル名指定画面＞

出力されたファイルの内容は、節電量を集計した「期間」（yyyy/mm/dd～yyyy/mm/dd）、その期間内に節電できた**「節電値累計」（kWh）**、そして1日単位での節電値(Wh)が「内訳」に出力されます（効果が 0Wh だった日は出力されません）。確認したらファイルを閉じてください。

＜出力ファイルの内容例＞

４－３. 節電モード移行機能

「４－１. 節電スケジュール機能」で設定した節電機能は、指定の時間が経過しないと節電モードへ移行しません。それを、今すぐに**モニタ電源オフ、スタンバイ、休止状態**に移行させる機能です。例えばこれから少しの間、席をはずすような場合、節電タイマによるタイムアウト時間を待たずに、今すぐにお好みの節電モードへ移行させてパソコンの節電を行うことができます。

SAVINGDA-plus のメニューから、「今すぐモニタオフ」、「今すぐスタンバイ」、「今すぐ休止状態」の中から選択してください。すぐに各節電モードへ移行します。

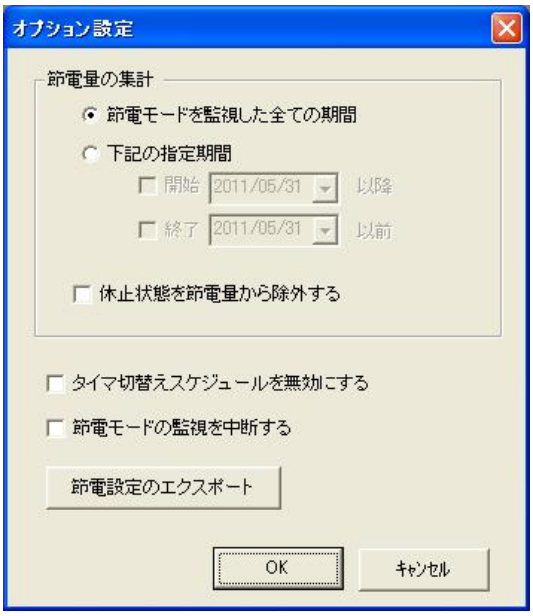
補足：Windows XP の場合、［コントロールパネル］－［電源オプション］－［休止状態]タブの、「休止状態を有効にする」がチェックされていないと、「今すぐ休止状態」は選択できません。

４－４. その他の機能

SAVINGDA-plus のオプション設定についての説明です。

４－４－１. オプション設定

SAVINGDA-plus のメニューから「オプション）を選択します。



＜オプション設定画面＞

（1）節電量の集計オプション

・節電量を集計する際の範囲(開始日付以降、終了日付以前、開始日付～終了日付)を指定できます。指定された日付の範囲で累計値が表示されます。

・「休止状態を節電量から除外する」をチェックすると、節電量を表示する際に休止状態によって節電できた電力量が除かれて計算されます。１日の終わりにパソコンを終了する際、通常はシャットダウンを行いますが代わりに休止状態を用いる使い方があり、そのような場合に、本設定をチェックします。

（2）節電スケジュール無効化オプション

・「タイマ切替スケジュールを無効にする」をチェックすると節電スケジュールが無効となり、電源管理はコントロールパネルの[電源オプション]の設定で行われるようになります。

（3）節電モード監視中断オプション

・節電スケジュールのみを行いたい場合に、「節電モードの監視を中断する」をチェックすると、節電モードの監視（節電モード移行/復帰の記録）が無効となります。

（4）節電設定のエクスポート

・SAVINGDA-plus 管理コンソールを使用する管理者が使用するコマンドです。現在のスケジュールおよび節電量値を、他のマシンに SAVINGDA-plus 管理コンソールで配信するための設定ファイル（INI）をエクスポート(出力)します。

４－４－２．SAVINGDA-plus の終了

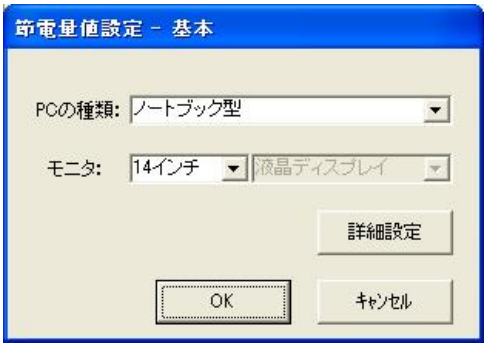
SAVINGDA-plus をアンインストールする（または再インストールする）場合に使用します。
SAVINGDA-plus のメニューから「終了」を選択してください。
SAVINGDA-plus を終了させた場合、節電スケジュール機能が働かなくなり、また節電の監視（節電値の記録）は行われなくなりますのでご注意ください。

４－４－３. 節電量値変更

SAVINGDA-plus がインストールされた状態では、デスクトップ型、一体型デスクトップ、ノートブック型、サブノート型等の平均的な消費電力値を基にした基礎数値から、節電量が測定されます。これを、現在ご使用のパソコンや外付けモニタの消費電力（各々の説明書をご参照ください）に合わせて基礎数値を変更し、より正確な値で計算させることができます。

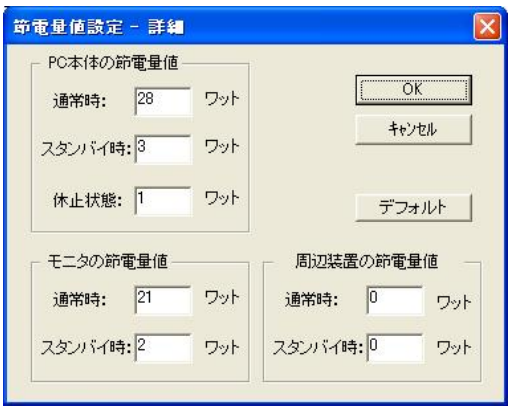
また、パソコンに USB HDD 等の周辺装置を接続している際、パソコン本体がスタンバイ(または休止状態)に移行するとその周辺装置も節電モードに入るものもあります（周辺装置説明書をご参照ください）。その場合は、周辺装置の節電値が加わるため、スタンバイ(または休止状態)移行時の節電量値を補正する必要があります。
上記のような場合は、以下のように設定します。

1. SAVINGDA-plus メニューから「節電量」-「節電量値変更」を選択し、[詳細設定]ボタンを押します。



＜節電量値設定画面＞

2. 該当する項目[PC 本体の節電量値]、[モニタの節電量値]、[周辺装置の節電量値]に、対象装置の消費電力（通常時、スタンバイ時のワット数）を入力して、[OK]ボタンを押します。



＜節電量値詳細設定画面＞

節電量表示を行うと、(その時に)上記設定した値が使用されて電力量が計算されます。

注意：初回インストール直後は、仮の節電量値が設定されていますので実際の節電量と大きく異なる場合があります。使用しているパソコンや周辺装置の説明書の消費電力を参照して節電量値を設定してください。
上記の節電量値を補正することで実測値に近づけることは可能ではありますが、計測器等を用いて実測した値とは、必ずしも一致するものではありませんので、あくまでも目安としてお考えください。

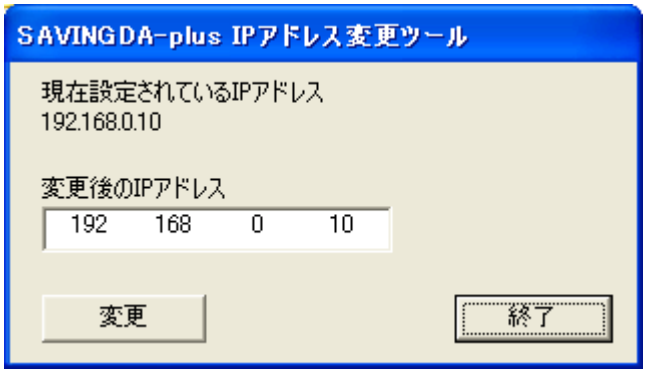
5. Q & A

No	Q （質問）	A （回答）
1	節電量とは、どのような単位で表されるのでしょうか。	節電量は、節電できた電力量=kWh（キロワット･アワー）で表されます。 例えば、モニタ電源オフ(30W 節電)が毎日 100 分(累計)行われた場合、1 ヶ月の合計は、(1 ヶ月を 20 日として、30W×100 分×20 日≒)1.0kWh となり、これは消費電力 1,000W の電化製品を1時間使用した場合の電力を節約したことに相当します。
2	モニタの輝度を変えても、電力消費量は変わらないのでしょうか。	モニタの輝度を変えると消費電力は変わります。モニタによっては、最低輝度と最高輝度で数ワット以上の差が生じることがあります。SAVINGDA-plus では、中間よりも少し明るめに設定した場合を想定し、節電量値が計算されます。
3	「節電量」の節電量値の設定で、モニタのサイズが選択肢の中に該当しません。	ご使用のモニタに近いサイズを選択してください。 もし[詳細設定]で「モニタの節電量値」の値（ワット数）を、該当するモニタの消費電力（カタログ値）に変更すれば、より正しい節電量を集計できます。
4	ハードディスクの電源オフが働いた場合、それは節電量に反映されるのでしょうか。	ハードディスク電源オフが働いた場合、デスクトップタイプ（3.5 インチハードディスク）で 4W、ノートタイプ（2.5 インチハードディスク）で 0.5W 節電されたものとして記録されます。
5	パソコンに USB HDD 等の周辺装置を接続している場合、節電量値を補正する必要があるのでしょうか。	パソコン本体がスタンバイ(または休止状態)に移行した場合に、(1)周辺装置も節電モードに入るかまたは(2)否かによります。（周辺装置説明書をご参照願います） (1)の場合は、[節電量値変更]-[詳細設定]で[周辺装置の節電量値]項目に、対象装置の消費電力（通常時、スタンバイ時のワット数）を入力します。 (2)の場合、入力の必要はありません。
6	節電スケジュール機能で設定しましたが、時間通りにスタンバイ（または休止状態）に移行しない場合があるようです。	スタンバイや休止状態等の節電タイマーは、OS が、アイドル状態を検出して、一定時間アイドル状態が続くと、スタンバイ等に移行させるものです。 パソコンの使用状態によっては、アイドル状態が短くなって、スタンバイに移行できない場合があります。使用していないアプリケーション等はなるべく終了させておくことをお勧めいたします。
7	モニタ電源オフの状態で、節電スケジューリングによる切替えが働くと、モニタが一瞬点灯することがあります。	モニタがオフでも、節電設定が切替わると、OS の仕様によりモニタがオンされてしまいます。SAVINGDA-plus では、再度モニタをオフさせていますが、機種によってタイミングが異なるため、一瞬だけモニタが点灯する場合があります。
8	SAVINGDA-plus を再インストールする際、注意事項はありますか。	画面右下のタスクトレイに緑色のアイコン(SDA)が表示されている時は、SAVINGDA-plus の再インストールを行うことはできません。(SDA)アイコンを右クリックして「終了」を選択してからインストールしてください。（アンインストールは不要です）
9	Windows Vista/Windows 7 で、スケジュールが切り替わったと同時にモニタオフするときがあります。	Windows Vista/Windows 7 では、モニタオフするまでのアイドル時間に、スケジュール切り替え時刻になるまでのアイドル時間も含まれます。たとえばスケジュール切り替え後 1 分でモニタオフの設定で、切り替え時刻までに 1 分以上アイドル状態だった場合、切り替えと同時にモニタオフします。
10	Windows Vista/Windows 7 で、電源オプションの詳細設定タブに表示される「次の時間が経過後休止状態にする」時間が、SAVINGDA-plus の設定値と違います。	「次の時間が経過後休止状態にする」時間は、スリープ状態になってからの時間です。SAVINGDA-plus で表示する「休止状態」の時間は、Windows XP の仕様にあわせてスリープ状態になるまでの時間も含んでいます。

(付録 1) サーバ IP アドレス変更方法

インストール時にサーバの IP アドレス指定を間違ったり、後からサーバの IP アドレスを変更したい場合は、以下の手順で IP アドレスを変更してください。

1. Windows のスタートメニューから、「すべてのプログラム」 - 「SAVINGDA-plus」 - 「IP アドレス変更ツール」を選択します。
2. IP アドレス変更ツールが起動しますので、変更後の IP アドレスに入力して「変更」ボタンを押します。



＜IP アドレス変更ツール画面＞

3. 「接続先 IP アドレスを変更しました。PC を再起動してください。」とメッセージが表示されたら、「終了」ボタンを押して PC を再起動してください。

手作業で変更することも可能です。DA Agent インストールフォルダ(デフォルトは C:¥Program Files¥HKE¥DA Premium)の Agent.exe.config をメモ帳で開き、以下の網掛けの箇所を編集し保存した後、PC を再起動してください。

----------Agent.exe.config **の内容例**----------

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<configuration>
  <appSettings>
    <add key="ManagerAddress" value="192.168.0.10" />
    <add key="ManagerPort" value="8601" />
    <add key="RemotingPort" value="8600" />
    <add key="GuidePort" value="8602" />
    <add key="GuideAddress" value="192.168.0.10" />
  </appSettings>
  <system.diagnostics>
    <switches>
      <add name="logLevel" value="Error" />
    </switches>
  </system.diagnostics>
</configuration>
```

以上の方法で変更できない場合、DA Agent をアンインストールしてから再インストールしてください。